

(別紙様式2) 利用学習報告書

平成28年6月21日

仙台市縄文の森広場所長 様

仙台市立国見小学校
校長 熊本 清孝

「縄文の森・地底の森」利用学習報告書の提出について

標記の件について下記の内容で提出いたします。お取り計らい方よろしく申し上げます。

記

1 事後指導について

(1) 実施日

・平成28年 5月31日(火) 9:00~15:40

(2) 主な内容

・社会科の授業で、地底の森ミュージアムと縄文の森広場を見学して感想を発表したり、見学して分かったことをふり返しシートにまとめたりする。

2 送付する資料

児童の作成資料・・・ふり返しシート(4名分)

3 個人情報保護との関連

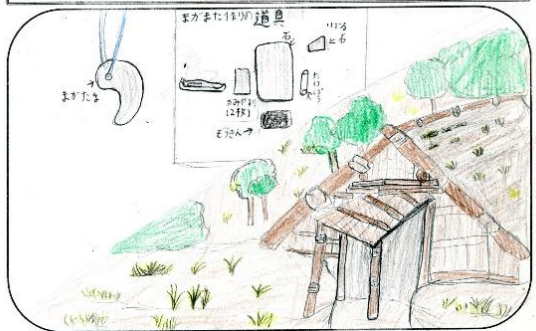
提出した資料については、個人名は伏せて表現しております。お取り計らい方よろしく申し上げます。

担当：第6学年 教諭 菅原 千恵

TEL：234-6383 FAX：271-3352

Email：kunimida@senndai-c.ed.jp

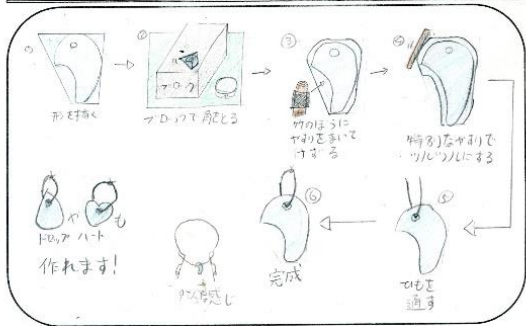
縄文の森 体験・見学



私は、縄文の森に着いた時、石アケと土笛作りの体験におがれました。私は石アケ作り体験をしました。体験する前に、石アケは、
 どういうのかとどうしてこの形になったかを説明してくれました。石アケの形
 が丸いのは、2つの管があり、1つはイシのキバの形をイメージしたこと、2つ
 目は、月形アケピカアケが丸い形にしているからということも話してくれました。
 それに作る時、1人1人が方法を考えたり挑戦したりしていました。
 楽しかったです。最後の仕上げでピカアケになっておもしろかったです。
 この、見学で縄文の森の遺跡やミナトの4つを見て、おが
 ました。中に見学が終了したら、外の見学をします。外の見学では、家に入
 ったり、縄文の人の生活の様子を見たりしました。6年2組
 が見学を体験しました。縄文時代の人は、どうやって生活していたか
 と思いました。

6年)

縄文の森の思い出 石アケ作り



私が昨日の校外学習で一番心に残った事は「石アケ作り」です。(上の絵にはその作り方が描いてあります)
 この石アケを作るための石は「丸石」というらしいです。
 この丸石は、ダイヤモンドが割れる月の10倍としたら、割れる
 の内の10倍の大きさです。(ダイヤモンドが割れるの10倍)
 縄文の森の職員、佐藤さんに、「丸石」をめぐり
 かけてみてと言われて、楽しく簡単にはずれて、おこ
 しくなりました。

昔の人たちのような貴重な体験ができてよかったです。
 6年)

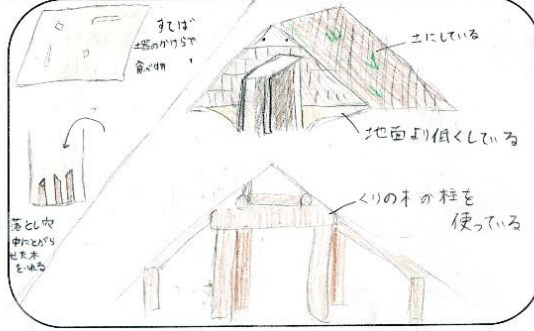
縄文の森



縄文の森では、木竹の縄文土器をさわったり
 かけらを組み合わせると一つの土器になってい
 る物を見ました。外では、たて穴住居の中
 に入り、すて場、落とし穴、ものをほぞんする所
 やね土をほぞんする所を見ました。
 石アケ作りでは、まが玉の形を作りました。石ほぞん
 やあらかとすて穴を作りました。このように縄文の
 森では、ふたでできないきょうな体験をして、とて
 も良い勉強になりました。

6年)

縄文時代の家「たて穴住居」



わたしは、縄文の森広場で見た、「たて穴住居」が一番心に
 残っています。教科書で見た写真が実際に見れて良かったです。
 ①たて穴住居
 ②家のつくり
 ・屋根は、くりの木柱を使っている。
 ・屋根の外側は土で塗られている。
 ③工夫
 ・土を削り地面を低くし、夏はすずく、冬はあたたか
 かくしている。
 ・雨が降ると土がたまるので、土がたまる
 ところから水をながして、6年
 に入りの位置も変えた。

6年)